

プレ探究活動「海洋実習」の成果

(1) 平成 29 年度 宮崎北高等学校海洋実習に参加した生徒

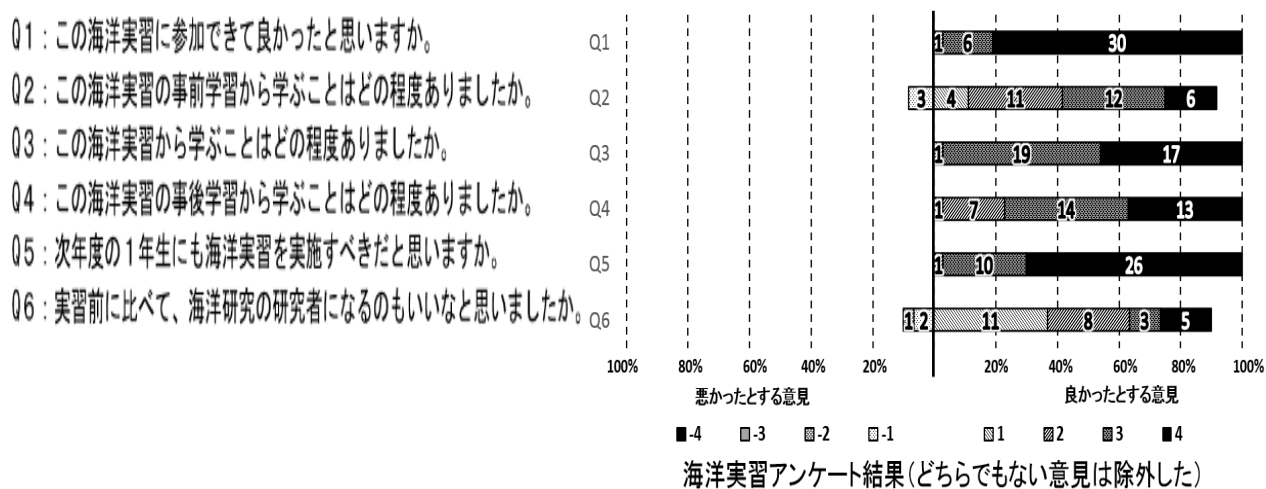
アンケートの集約結果およびその後の経過

■ 実習直後のアンケート結果 ■

プレ探究活動として「海洋実習」を行うことができました。生徒や保護者の感想は非常に好感を持つことのできるものでした。実習前後で大きく 3 つの成長を確認できました。

- 1：海洋系の研究に少しでも携わりたいと思う。 5%→73%
- 2：研究には協働力が必要である。 55.9%
- 3：研修後に自分の進路について具体的に考えるようになった。

《アンケート調査項目とその結果》



■ 経過 1 年後の状況 ■

高校 2 年生になった「海洋研究者になるのもいい」と強く思った生徒 5 名のうち、2 名は現在も水産系の研究職を目指している。オープンキャンパスも水産学科を見学する計画を立てている。

また、そのうち 1 名は「宮崎県版トビタテ留学 JAPAN」に合格した。アイルランドの大型漁業のシステムを学習するために 1 ヶ月間留学すること、県内では、一週間のインターンシップを黒瀬水産（ブリの養殖）で学び、アイルランドには生節を持参し、宮崎県を PR する予定である。帰国後は校内で、その成果を発表する計画を立てている。

プレ探究活動「海洋実習」の成果

(2) 平成30年度 宮崎北高等学校海洋実習「海洋と大陸」アンケートの集約結果

Q1～Q3

それぞれの取り組みの達成感を表しています。いずれも95%を越えており、生徒にとって貴重な学びの場となったといえます。

Q5～Q8

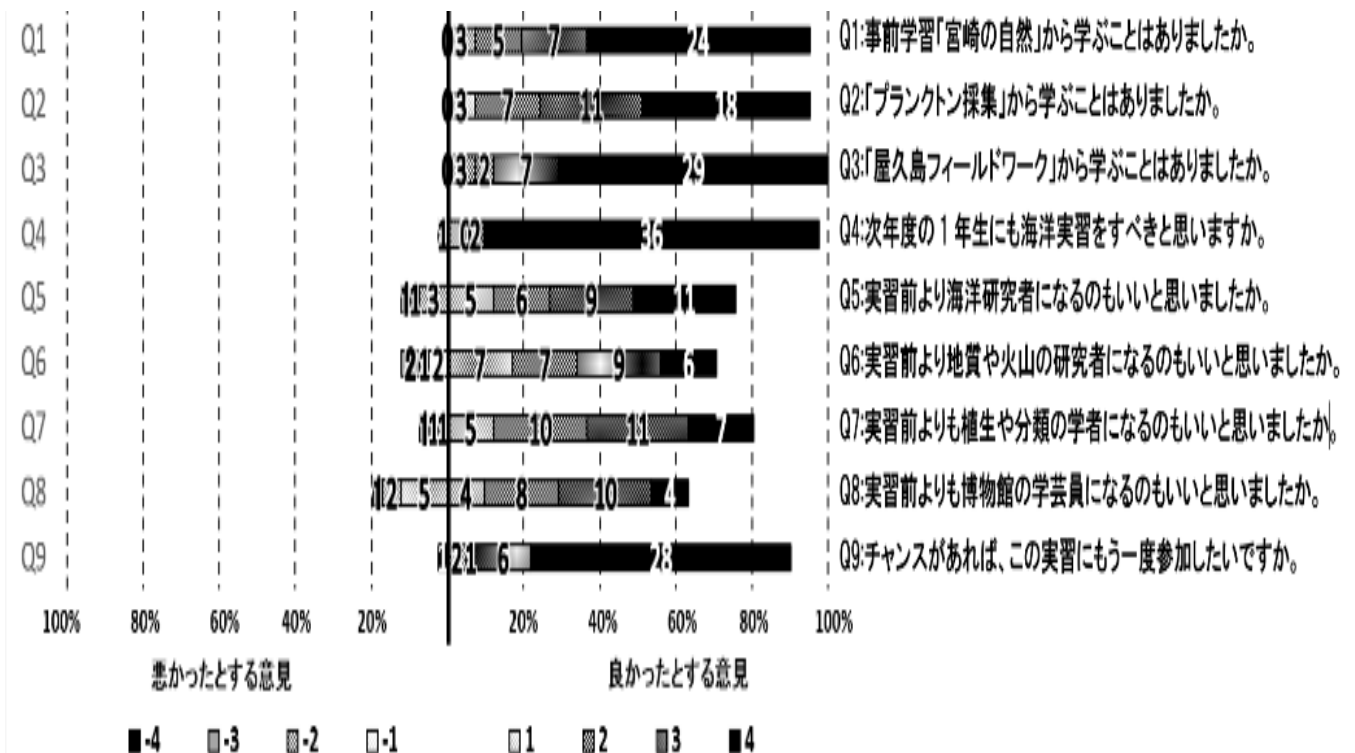
将来の職業観への影響を示しています。海洋研究者75.61%、地質・火山研究者70.73%、植生・分類研究者80.49%、博物館学芸員63.41%の生徒が実習前よりも関心を示しています。

Q4・Q9

今回の実習に対する評価を示しています。いずれも類似した結果となっており、生徒達は次世代にも実習の継続を望むほど、良い取り組みであったと評価しているとお考えください。

《アンケート調査項目とその結果》

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9
良い	95.12%	95.12%	100%	97.56%	75.61%	70.73%	80.49%	63.41%	90.24%



H30海洋実習アンケート結果(どちらでもない意見は除外)